

第1学年音楽科学習指導案

期日：平成21年2月27日（金）6校時

学級：岩手大学教育学部附属中学校1年A組

男子20名、女子20名、計40名

指導者：盛岡教育事務所 福士 幸雄

1 題材名「速度や旋律と強弱とのかかわりを感じ取って歌ったり聴いたりしよう」

教材 「荒城の月」 土井 晩翠：作詞 瀧 廉太郎：作曲

2 指導内容

本題材は歌唱の指導事項ア「歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと」及び鑑賞の指導事項ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」から設定する。

また、共通事項ア「音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること」のうち以下のcについて焦点化を図って設定する。

- a 歌詞の言葉の意味内容、情景や心情をとらえた歌唱表現
- b 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり
- c 速度、旋律及び強弱を知覚すること、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること

3 題材の目標

- (1) 歌詞の内容や曲想、速度や旋律と強弱とのかかわりに関心をもち、意欲的に歌唱表現したり鑑賞したりする。
- (2) 歌詞の内容や曲想、速度や旋律と強弱とのかかわりを感じ取って、自分なりのイメージをもって表現を工夫する。
- (3) 歌詞の内容や曲想、旋律と強弱とのかかわりに気を付けて、曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付ける。
- (4) 速度や旋律と強弱とのかかわりによって生み出される曲想の変化を意識して、楽曲を鑑賞する。

4 題材について

本題材は、A表現の歌唱の指導事項ア、B鑑賞の指導事項ア及び共通事項アをもとに設定する。歌唱の指導事項では、それぞれ「歌詞の言葉の意味内容、情景や心情をとらえた歌唱表現を指導内容とする。また、共通事項ア「旋律と強弱とのかかわり」を感じ取って、イメージや感情を大切にしながら表現の工夫を行い、表現の技能を身に付けることを指導内容とする。

また、鑑賞では表現で学習した内容を活かして、さらに「速度」を加えて、「速度」と「旋律と強弱とのかかわり」について知覚・感受することを指導内容とする。比較聴取や実際に歌う活動とおして、より一層知覚・感受を深め、最後に本題材で学習した内容を活かして、荒城の月を鑑賞するという流れで授業を構想した。

そのために、歌詞の意味内容やその背景にある心情や情景を味わわせるとともに、それらを踏まえて旋律の動きや強弱に着目して、自然な言葉の流れと自然な音楽の流れを感じ取って、自分なりのイメージや感情をもって表現の工夫をして、そのよさや美しさをとらえて歌うことを目指したい。

また、鑑賞では、歌唱で学習した内容に加えて、速度の果たす役割に着目させて、速度が果たす効果を感じ取らせたい。また、前時の学習内容を活かして、旋律と強弱とのかかわりについても学習を深めたい。その上で、本題材で学習した内容を活かして荒城の月をじっくり聴き味わい、自分なりの価値判断をともなった思いや意図を言葉で説明させたい。

5 題材の評価規準

	観点1 音楽への関心・意欲・ 態度	観点2 音楽的な感受や表現の 工夫	観点3 表現の技能	観点4 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	歌詞の内容や曲想、速度や旋律と強弱とのかかわりに関心をもち、意欲的に歌唱表現したり鑑賞したりしようとしている。	歌詞の内容や曲想、速度や旋律と強弱とのかかわりを感じ取って、自分なりのイメージをもって表現を工夫している。	歌詞の内容や曲想、旋律と強弱とのかかわりに気を付けて、曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付けている。	速度や旋律と強弱とのかかわりによって生み出される曲想の変化を意識して、楽曲を鑑賞している。

学習活動における具体的評価規準	① 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、意欲的に歌唱表現しようとしている。 ② 旋律の動きと強弱とのかかわりに関心を持ち、主体的に表現しようとしている。 ③ 速度や旋律と強弱とのかかわりに関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。	① 歌詞の内容や曲想を感じ取って、イメージをもって表現を工夫している。 ② 旋律の動きと強弱とのかかわりを感じ取って、表現を工夫している。 ③ 速度や旋律と強弱とのかかわりを感じ取っている。	① 歌詞の内容や曲想を生かして、表現する技能を身に付けている。 ② 旋律の動きと強弱とのかかわりを生かして、表現する技能を身に付けている。	③ 速度や旋律と強弱とのかかわりを聴き取って、それらが生み出すよさや美しさを鑑賞している。
-----------------	--	---	--	---

6 指導と評価の計画（3時間扱い）

時	学習活動	具体的評価規準との関連	評価方法など
1	<ul style="list-style-type: none"> 「荒城の月」の旋律を歌う。 「荒城の月」の歌詞を読み、その意味内容や心情、情景などを感じ取る。感受したことをもとにイメージをもって、具体的にどのように歌に生かしていくかを考える。 歌詞の朗読を生かして「荒城の月」を歌う 	観点1① 観点2① 観点3①	観察 学習プリント 演奏
2	<ul style="list-style-type: none"> 前時の確認 「荒城の月」の旋律の動きと強弱とのかかわりをとらえる。 旋律の動きと強弱に留意しながら響きをつけて「歌い読み」をする。 「歌い読み」を生かしながら「荒城の月」を歌う。 	観点1② 観点2② 観点3②	観察 学習プリント 生徒の発言内容 学習プリント 生徒の発言内容 演奏内容の確認
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> 前時の確認 速度や旋律と強弱との結び付きをとらえる。 知覚・感受したことを活かして、実際に歌って確認する。 本題材で学習したことを活かして「荒城の月」を鑑賞する。 	観点1③ 観点2③ 観点3③	観察 学習プリント 生徒の発言内容 批評文

7 指導と評価の展開

(1) 本時の目標

- ・速度や旋律と強弱とのかかわりに関心を持ち、意欲的に鑑賞する。
- ・速度や旋律と強弱とのかかわりを感じ取る。
- ・速度や旋律と強弱とのかかわりによって生み出される曲想の変化を意識して、楽曲を鑑賞する。

(2) 本時の具体の評価規準と生徒の学習状況

生徒の学習状況 具体の評価規準	B おおむね満足できる	A 十分に満足できる
<p>【観点1-③】</p> <p>速度や旋律と強弱とのかかわりに関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。</p>	<p>学習プリントの課題に取り組み、速度または旋律と強弱とのかかわりについて自分なりの考えを発表している。</p>	<p>学習プリントの課題に意欲的に取り組み、速度及び旋律と強弱とのかかわりについて、感じ取ったことや気付いたことを積極的に発表している。</p>
<p>【観点2-③】</p> <p>速度や旋律と強弱とのかかわりを感じ取っている。</p>	<p>速度または旋律と強弱とのかかわりについて、どのような感じがしたか、または、そのように感じた根拠について、いずれかについて記述したり発表したりしている。</p> <p>〈発言・記述例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの演奏より重苦しく悲しい感じがした。 ・自分たちの演奏よりあっさりした爽やかな感じがした。 	<p>速度や旋律と強弱とのかかわりについて、どのような感じがしたか、そして、そのように感じた根拠について記述したり発表したりしている。</p> <p>〈発言・記述例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの演奏よりテンポが遅くて重苦しく悲しい感じがした。 ・自分たちの演奏より強弱がついていないためにあっさりした爽やかな感じがした。
<p>【観点4-③】</p> <p>速度や旋律と強弱とのかかわりによって生み出される曲想の変化を意識して、楽曲を鑑賞している。</p>	<p>速度または旋律と強弱とのかかわりのいずれかについて、自分なりのイメージや感情、価値判断をもって記述したり発表したりしている。</p>	<p>既習内容である歌詞の内容や曲想、旋律と強弱とのかかわりを含めて、本時で学習した速度や旋律と強弱とのかかわりについて、自分なりのイメージや感情、価値判断をもって記述したり発表したりしている。</p>

努力を要する生徒（C）への支援の手だて

<p>【観点2-③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の見解などを参考にして、速度や旋律と強弱のかかわりに気付かせる。 ・朗読や歌い読みを交えながら、速度や旋律と強弱のかかわりに気付かせる。 ・ <p>【観点4-②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で学習したことを再確認して、学習したことを想起させながら、記述する視点を明確にして、その視点を意識して書くように指示する。

(4) 展開

ねらい・学習活動	具体的評価規準との関連	◎留意事項 ☆評価
1 前時の授業内容の確認をする。 2 これまで学習したことを活かして歌唱する。		◎前時までの学習（歌詞の意味内容、心情や情景から生まれるイメージ、旋律と強弱とのかかわり）を踏まえ、歌唱表現させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 速度や旋律と強弱とのかかわりを感じ取って、荒城の月を聴き味わおう。 </div>		
3 自分たちが歌った荒城の月とCDの演奏とを聴き比べて、その違いを感じ取る。	観点1 ③ 観点2 ③	◎前時までの学習した内容について考えさせるとともに、速度についても着目させ、知覚・感受させる。 ☆学習プリント記入の確認
4 比較聴取して感じ取った「速度」と「旋律と強弱のかかわり」について、実際に歌って、その働きや効果を確認する。	観点2 ③	◎前時までに学習した旋律と強弱を活かしつつ速度にも気を付けて歌わせる。
5 1番だけでなく、1～4番を通して歌ったCDの演奏を聴き、「速度」や「旋律と強弱のかかわり」の変化を感じ取る。	観点2 ③	◎強弱の変化については、歌詞の意味内容も深くかかわってくることをヒントにして聴き取らせる。 ☆学習プリント記入の確認
6 速度や旋律と強弱のかかわりが生み出す「荒城の月」を味わいながら聴き、批評文に書き表す。	観点4 ③	◎本題材で学習した内容を振り返ってから聴かせる。 ◎第1時以降ふれてきた歌詞の意味内容、心情や情景から生まれるイメージなども関わらせて記入させる。 ☆学習プリントの記入

<本題材及び本時の指導を構想した趣旨>

- 1 まだ平成20年度であるが、2年後の研究を見据えて新学習指導要領によって指導内容等を記述したこと
- 2 誰でも知っている教材、誰でも学習したことがある・指導したことがある教材を選定したこと
- 3 小学校と中学校（高等学校）との系統性・発展性を考慮したこと
c f. 一般的に小学校では鑑賞、中学校では表現・歌唱で扱っている教材であること
- 4 本題材は表現と鑑賞をミックスした題材であること→本時は鑑賞であること
- 5 小学校で行っている鑑賞の授業改善への示唆、中学校の歌唱の授業改善への示唆をしたこと
c f. ただ聴いて感想を書く授業、歌詞の意味内容と心情や情景をイメージして歌うだけの授業
- 6 既習事項を活かした課題づくり→今回は行わない
観点2→観点4の学習を深めることに重点を置いているため、導入では前時までの確認のみとして課題は教師から提示するスタイルをとる。
また、指導内容のついても精選を図って、指導内容の焦点化を図った。
- 7 知覚・感受を深める有効な手だて①→比較聴取すること
- 8 知覚・感受を深める有効な手だて②→実際に歌う活動を取り入れたこと
よって、実際に歌った活動は、本時の位置づけでは「表現の技能」ではなく、「音楽的な感受や表現の工夫」であること
- 9 聴取し感じ取ったことを、実際に歌う活動をとおして確認し、知覚・感受をさらに深める工夫をしていること
- 10 比較聴取や歌う活動によって深まった知覚・感受を活かして、最後の批評につなげること